

**がん薬物療法専門医認定申請 書類審査
症例実績報告書 査読基準**

<評価の概要>

研修記録の得点は「A.症例ごとに評価する項目」と「B.全体を通して評価する項目」とに分けて評価します。

§ A.症例ごとに評価する項目 評価のポイント

例として挙げられている内容はあくまで例示です。例示以外の問題点も査読者の判断で評価してください。

加点を考慮する例

- | | |
|---|----|
| <p>例；</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 報告書の体裁が整っており読みやすい ▪ 現病歴・現症・検査の記載が重要な要点をよく押さえている ▪ 経過の記載が明瞭で理解しやすい ▪ 治療方針決定のプロセスが明確である ▪ 標準的でない治療を行った場合、それを実施した医学的な理由が明確である ▪ 臓器障害をもつあるいは併存症などリスクが高い症例をとりあげている ▪ 記載されている医療行為が現在の医学レベルでは不適切である場合、現在の医学レベルの変化を含めて考察している ▪ 引用文献が極めて適切である | など |
|---|----|

減点を考慮する例

報告書の体裁が整っていない場合

- | | |
|---|----|
| <p>例；</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 基本情報（診療期間や転帰など）の不備がある ▪ 個人情報（患者氏名、ID など）を記載している ▪ がんや合併症の診断名が不正確である ▪ がん治療に影響を及ぼす合併症に関し経過が記載されていない ▪ 自身の症例間でのコピーペーストが極端に目立つ ▪ 誤記や不適切な表現が極端に目立つ ▪ 余白が多く内容が不足しているまたは不必要に長い（1 症例 A4 用紙 2 枚を原則とする） ▪ 文章が極端に読みづらい | など |
|---|----|

現病歴・現症・検査の記載が不適切である場合

- | | |
|---|----|
| <p>例；</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 乳癌症例で閉経状態の記載がない ▪ PS、身長・体重、バイタルサインの記載がない ▪ 糖尿病がある時の血糖値・HbA1c の記載がない ▪ 基本的な血液検査所見の記載がない | など |
|---|----|

経過の記載が不十分または治療方針決定のプロセスが不明である場合

- | | |
|---|----|
| <p>例；</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 重要な病理情報が記載されていない（乳癌でホルモン受容体や HER2 など） ▪ TKI が適応となりうる進行肺癌症例で EGFR 変異の記載がない ▪ 「施設としてこうしている」という記載があるが、それが標準的でない ▪ 「カンファレンスで●●を実施することになった」という記載があるが、●●が標準的治療で無い場合にその根拠が示されていない | など |
|---|----|

がん薬物療法専門医認定申請 書類審査
症例実績報告書 査読基準

減点を考慮する例

標準的でない治療法を選択したりマネジメントをしたりしている場合

- 例；
- 理由もなく減量したり間隔を変更したりしている
 - 抗がん薬が体表面積あたりではなく、/body で計算されている
 - 比較試験実施中の試験治療を実地医療で実施している
 - PD になったあとも漫然と治療を続行している
 - 腎機能低下高齢者に S-1 を通常量処方している
 - G-CSF や制吐薬の使用がガイドラインと大きく異なり、その理由の記載がない
- など

薬物療法や手術、放射線治療に関する記載が不適切である場合

- 例；
- 薬物療法の用法用量スケジュールの記載が不適切である
 - 効果・副作用の適切な記載がない
 - 術式や放射線治療の基本情報が記載されていない
- など

考察の記載が以下の項目に該当する場合

- 例；
- 臨床経過の記載と考察での記載が異なる
 - エビデンスに関する一般論のみであり、症例の問題点を考察していない
 - 重要な合併症をとりあげない
 - 診療期間内の治療の考察をせず、他の治療期間や関連のない考察をしている
 - エビデンスレベルや引用文献の記載が不十分である
- など

§ B.全体を通して評価する項目 評価のポイント

- 例；
- 30 症例の臓器・領域が、7 領域以上にわたっている（必須 4 領域のほかに 3 領域以上が含まれている）
 - 婦人科領域が含まれている
 - 泌尿器領域が含まれている
 - 頭頸部領域が含まれている
 - 全ての領域が 10 例以下である（領域の偏りが少ない）
 - 「呼吸器」に小細胞肺癌・非小細胞肺癌の双方が含まれている（1 臓器・領域内の偏りが少ない）
 - 「乳房」に早期乳癌、転移・再発乳癌の双方が含まれている（1 臓器・領域内の偏りが少ない）
 - 「造血器」に急性白血病が含まれている（1 臓器・領域内の偏りが少ない）
 - 「消化管」に 2 臓器以上の癌が含まれている（1 臓器・領域内の偏りが少ない）
 - 剖検を実施した症例が含まれている
- など

複数の申請者の病歴要約で相互に流用（同一の記載）がみられた場合、自身の提出症例の複数に流用がみられた場合は不正と判断されることがあります。考察など、申請者が症例ごと独自に記載すべき項目の流用は認められませんので注意してください。